

記入例

第六号の二書式(第二十条の三関係)(A4)

建築士法第23条の6の規定による
設計等の業務に関する報告書

(第一面)

建築士法第23条の6の規定により、設計等の業務に関する報告書を提出します。この報告書の記載事項は事実と相違ありません。

〇〇建築事務所長 様

窓口への提出日又は郵送

令和4年 〇月 〇日

(一級) 建築士事務所 鳥取県知事登録第〇〇〇〇〇〇号

所在地 鳥取県〇〇市町村

電話 085〇-〇〇-〇〇〇〇

建築士事務所の開設者の氏名又は名称

押印不要

鳥取建築一級建築事務所 鳥取 太郎

〔記入注意〕 建築士事務所の開設者が法人である場合には、法人の代表者の氏名も併せて記載すること。

- ・ 毎事業年度の経過後、3カ月以内に提出しなければならない。
- ・ 個人の事業年度は、1月～12月（暦年）です。
- ・ 建築士法第24条の6の規定による閲覧に供する書類と内容を整合させてください。

※この報告書の対象とした事業年度の始期及び終期

令和〇年 〇月 〇日から令和〇年 〇月 〇日まで

（ 開設者が個人の場合：1月1日から12月31日まで
開設者が法人の場合：決算日までの一年間 ）

建築士事務所の業務の実績

1 当該事業年度における直近のものから順次記入して下さい。
2 〔例〕

東京都	共同住宅	鉄筋コンクリート造 五階建延700㎡	設計及び 工事監理	2019. 2. 1 2019. 10. 3
-----	------	-----------------------	--------------	---------------------------

建築物所在地都道府県	建築物の用途	構造及び規模	業務内容	期 間
鳥取県	共同住宅	鉄筋コンクリート造 九階建 延べ4500㎡	設計及び 手続の代理	R〇.〇.〇 ～ 継続中
鳥取県	事務所ビル	鉄筋コンクリート造 五階建 延べ750㎡	設計	R〇.〇.〇 ～R△.△. △

- ・事業年度内に行なったものの全てにおいて、直近のものから記入ください。ただし、継続中のものは、期間内に「(契約日)～継続中」と記入ください。二期にまたがる業務は、該当する2年分の両方に記入ください。
- ・建築士法21条に規定されている「その他の業務」の記載は不要です。
- ・全く事業を行わなかった場合は、「業務実績なし」と記載してください。
- ・個人情報の観点から、「〇〇邸」など建築主の個人名等の記載は避けてください。

(第三面)

所 属 建 築 士 名 簿

氏名	一級建築士、二級建築士又は木造建築士の別及び管理建築士である場合にあつては、その旨	登録番号	登録を受けた都道府県名（二級建築士又は木造建築士の場合）	建築士法第22条の2第1号から第3号までに定める講習のうち直近のものを受けた年月日	構造設計一級建築士又は設備設計一級建築士である場合にあつては、その旨	構造設計一級建築士証又は設備設計一級建築士証の交付番号	建築士法第22条の2第4号及び第5号に定める講習のうちそれぞれ直近のものを受けた年月日
建築 太郎	一級建築士	第〇〇〇〇 〇号			直近の定期講習受講日 (一級、二級、木造)		
鳥取 次郎 (R〇.〇.〇退所)	二級建築士	第〇〇〇〇 〇号	鳥取県	R〇.〇.〇			
鳥取 三郎	一級建築士 管理建築士	第〇〇〇〇 〇号		R〇.〇.〇	構造設計一級建築士	〇〇〇	R〇.〇.〇
計 2				一級建築士	1	名	
				二級建築士	0	名	
				木造建築士	0	名	
				構造設計一級建築士	1	名	
				設備設計一級建築士	0	名	

決算日に所属建築士
となっている人数

所属建築士名簿の変更に関する注意点

業務報告書の提出と所属建築士の変更は別の手続きです。所属建築士に変更が生じた場合は、鳥取県建築士事務所協会に変更届を提出して登録内容を変更する必要があります。

(第四面)

所属建築士の業務の実績

〔記入注意〕

- 1 所属建築士の当該事業年度における業務の実績を、当該建築士事務所におけるものに限って、直近のものから順次記入して下さい。
- 2 〔例〕

国土 太郎 東京都 共同住宅 鉄筋コンクリート造
五階建延700㎡ 設 計 及
び 工 事
監 理 2007. 2. 1
2007. 10. 3

所属建築士の氏名	建築物所在地都道府県	建築物の用途	構造及び規模	業務内容	期 間
建築 太郎	鳥取県	共同住宅	鉄筋コンクリート造 九階建 延べ4500㎡	設 計 及 び 手 続 の代理	R○.○. ○～ 継続中
鳥取 次郎	鳥取県	事務所ビル	鉄筋コンクリート造 五階建 延べ750㎡	設計	R○.○. ○ ～ R△. △.△
・所属建築士ごとに業務内容を記載してください。 ・所属建築士が1名の場合は、建築士名をご記入の上、「第二面と同じ」と記載いただいてもかまいません。 ・業務施工のみの場合など、建築士法に係る業務がなかった場合は「実績なし」と記入ください。					

(第五面)

管理建築士による意見の概要

〔記入注意〕

当該事業年度における直近のものから順次記入して下さい。

管理建築士の 氏名	建築士事務所の開設者に対して述べら れた意見の概要	当該意見が述べられた日
・ 開設者兼管理建築士の場合や意見がなかった場合は、「意見なし」と記載してください。		